

第5回 本川流域水害対策協議会 議事概要

1 日 時 令和7年3月19日(水) 13時30分～15時00分

2 場 所 竹原市役所 大会議室
(竹原市中央五丁目6番28号)

3 出席者

役 職	氏 名	備考
広島大学大学院 先進理工系科学研究科 教授	内田 龍彦	座長
広島工業大学 工学部 環境土木工学科 准教授	今川 朱美	
元竹原消防署長	土田 勇	
竹原市長	今榮 敏彦	
広島県 農林水産局長	大濱 清	
広島県 土木建築局長	上田 隆博	会長

4 議事

- (1) 本川流域水害対策協議会規約の改正について
- (2) 流域水害対策計画に係る各取組の実施について

5 主な意見

- 本川の河川整備については、早期完成に努めること。
- 排水ポンプや雨水貯留施設の整備については、内水被害の軽減のための取組であるため、早期完成に努めるとともに、外水への影響があってはならないため、本川の河川整備との整合を十分に図ること。
- 地域住民の協力があり整備ができていることを念頭に置き、県・市・地域住民がコミュニケーションを取り、流域治水を推進していただきたい。
- 雨水貯留施設の平常時の利活用について、地域に丁寧な説明を行いながら検討すること。
- ため池の整備や山林の保全については、利水と治水の両立、通常の管理と水害を減らす対策との両立、これらの可能性を考えて取り組むこと。
- 立地適正化計画については、水害を考慮した計画へ見直しとなっており、引き続き流域治水の取組との整合を図ること。
- 土砂流出対策については、令和3年豪雨における浸水被害発生の一因となっていることから、浸水被害の軽減のための取組として非常に意義があり、継続して取組を進めること。